

	質問内容	担当所管	回答案
1	6月の大雨の日、休校か否か分からず、家が遠いので朝6時台に家を出て登校した。登校し授業開始10分後に休校となった。運休や電車の遅れで帰宅も大変だった。前日から翌日の豪雨は想定されていた状況で、その場合もう少し早く判断や学生への通知ができないかと思います。	総務課	大学では、学生の安全確保を最優先に、気象情報や交通機関の運行状況等を総合的に判断し、休講等の措置を決定しております。一方で、気象状況は刻々と変化するため、前日段階での判断が難しい場合もあります。 先日的大雨対応後に学内で運用の見直しを行い、休講等の判断及び学生への周知を可能な限り早期に実施できるよう改善を図っております。今後も学生の皆さんへの迅速かつ適切な情報提供に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
		医学教育推進課	休講等の措置につきましては、予め定められた基準に基づいて判断しております。 また医学部では、他キャンパスとは異なる立地や学生の利用する交通機関等を踏まえ、大学全体の判断に加え、気象状況や交通機関の運行状況、学生の安全確保などを総合的に勘案し、学部独自の判断を行う場合があります。 今回は荒天が予想されていたものの、交通機関への影響には不確実な要素もあったことから、当日の状況を確認しながら対応を検討しました。その結果、多くの学生が既に登校していた一方で、台風の接近に伴う風雨の強まりが帰宅時間帯と重なることが見込まれたため、学生の安全確保を優先し、4限以降を休講としました。 ご指摘のとおり、前日から荒天が予想される中で学生の皆さんが早朝から対応を迫られる状況となったことや、大学全体の方針との違い、判断理由について十分な説明ができていなかったことは課題であったと認識しております。 今後は、学生の皆さんが安心して行動できるよう、より早い段階での情報提供に努めるとともに、大学全体の方針と医学部の対応が異なる場合には、その理由についても分かりやすくお伝えし、適切な情報発信に努めてまいります。
		教育推進課	この度は、悪天候時の休講等の措置に関して貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。 6月3日の台風発生・接近に伴う一連の本学の対応について休講の判断・周知が授業開始後となり、早朝から登校された中でご負担をおかけし、また、その後の交通機関の運休や遅延等により帰宅時のご不便をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。 ご指摘のとおり、悪天候時において可能な限り早い段階で休講等の判断を行い、学生の皆様に周知することは、安全確保や通学負担軽減の観点からも非常に重要であると認識しております。 いただいたご意見も踏まえ、他大学の事例等も参考にしながら、学内の関係部署が連携して検討を行い、悪天候時における休講等の判断・周知の運用を見直しました。今後はより早い段階での判断および周知が可能となるよう、気象状況や交通機関の状況等を適切に把握しながら、学生の皆様にとって安心・安全な学習環境の整備、適切な対応に努めてまいります。 この度は、ご不安とご負担をおかけしましたことを重ねてお詫び申し上げますとともに、今後の大学運営の改善につながるご意見をいただきましたことに、改めて御礼申し上げます。 何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
2	一般的な就職活動の時期や流れなど、基本的なことを教えていただけるとありがたいです。	キャリア支援担当	就職活動の準備を始める時期は、学部3年生や大学院1年生の春頃が一般的です。就職活動の流れについては、説明資料の14ページをご覧ください。ただし、志望する業界や企業、職種などによって、応募時期や方法も異なります。 キャリア支援センターで提供しているキャリア相談や、イベントを通して様々な活動事例が確認できますので、是非、キャリア支援センターを活用していただきたいと思います。
3	留学にあたっての費用、生活費、渡航費等、具体的に留学場所によっての違いをしりたい。	グローバル推進室	想定される留学費用については、各プログラムで異なります。また、昨今の円安基調や物価高により、航空券や宿舍費用が高騰しているため、今後想定される留学費用の目安をお示しすることが難しい状況です。ご参考までに、過去のプログラム費用を実績・目安としてお示しいたします。（※各プログラムの参加には、本学が指定する保険への加入代金が別途必要となります。） ・「第2クォータープログラム」 イギリス ダブリンシティ大学（2026年6月27日～7月27日に参加の場合） 合計金額：約86万円〔内訳 語学研修費用・滞在費：約53万円 航空券代金：約29万円 プログラム運営費(委託会社)：約4万円〕 ・「夏季短期研修プログラム」 アメリカ サンディエゴ州立大学（2026年8月12日～9月13日に参加の場合） 合計金額：約100万円〔内訳 語学研修費用・滞在費：約53万円 航空券代金：約43万円 プログラム運営費(委託会社)：約4万円〕 ・「長期交換留学プログラム」（2025年度帰国学生の情報による） イギリス「リーズトリニティ大学」へ交換留学の場合 ・航空券費用（往復）約30万円 ・生活費（※1ヶ月あたりの費用）約20万円 〔内訳 学生寮費用：約10万円 生活費：約10万円（食費・交通費・娯楽費など）〕 長期交換留学プログラムについては、ホームページに掲載している各学生の留学レポートも、具体的な生活費等の参考になりますので、ご覧ください。 https://www.yokohama-cu.ac.jp/ytog/global/overseas_study/reports2025.html

	質問内容	担当所管	回答案
4	留学中に怪我や事故があった場合の対応はどのようになっておりますでしょうか	グローバル推進室	大学を通じて海外留学する場合、海外留学生安全対策協議会(JCSOS)という団体が提供する海外危機管理サポートデスク(J-TAS)に加入いただきます。また、海外留学保険は学研災付帯海外留学保険(東京海上日動火災保険株式会社)に加入いただきます。J-TASは加入者とその保護者が365日・24時間、日本語で相談できるサービスですので、留学先で何かトラブルがあった場合には、まずはJ-TASにご相談いただいており、大学にはJ-TASから報告が入るようになっていきます。様々な相談ができますので、詳細は以下のページをご確認ください。 https://www.jcsos.org/traveler/j-tas/way
5	データサイエンス学部的人数が倍に 来年度からなりますが、就職や大学 院への進学などの対応はどのように ご検討されているのでしょうか？	キャリア支援担当	大学としてはこれまでと変わらず、就職支援や大学院進学支援の充実を図りながら対応してまいります。データサイエンス分野は社会的ニーズが高く、多様な業界で活躍が期待されていることから、企業との連携や進路支援を通じて学生の希望する進路の実現を支援してまいります。
		アドミッション課	データサイエンス研究科では、学部の定員増加に先立ち、令和7年度入試から募集定員を拡大しております。 大学院進学に関心のある場合は、学内生を対象としたデータサイエンス研究科大学院説明会を開催しておりますので、ぜひご参加ください。開催日時については、決定次第YCU-Boardにてお知らせいたします。
6	1. 就職後の離職率	キャリア支援担当	本学では、在学生のキャリア・就職支援に役立てるため、卒業して3年経過した卒業生の方を対象に「現況（就職先や進学先等）」「転職の有無・回数・理由」「在学中に有意義だったと思う経験」「社会人として今必要な「学び」や「スキル」は何か」等を確認しています。 令和7年度実施の卒業生アンケートでは、卒業3年以内に転職した割合は約20%という結果でした。 なお、厚生労働省の調査結果では、新規大学卒就職者が就職後3年以内に離職する割合は33.8%と公表されています（令和7年秋公表）。 ご参考として、転職理由の約4割が「キャリアアップ」という回答結果となっています。
	2. 学部別でどんな職業についているのか	キャリア支援担当	参考(卒業後の進路データ) https://www.yokohama-cu.ac.jp/career_dev/career/shinrodata.html 学部によって就職先の業界や職種に一定の傾向はありますが、実際には、学生一人ひとりの希望や適性に応じて、多様な業界・職種へ就職しています。 (各学部の傾向) 国際教養学部 → 語学力や国際性を生かし、国際関連業務に進む人が多いです。 国際商学部 → 金融業界への就職が非常に強く、コンサルティング等にも進む人が多いです。 理学部 → 約7割が大学院へ進学しており、就職する学生は研究・技術系職種に進む傾向があります。 データサイエンス学部 → 卒業生の職業分類では「情報処理・通信技術者」が多く、IT・データ分析関連職への就職が中心です。
	3. 地方から来ている人たちのUターンは何%なのか。	キャリア支援担当	約4%です。 Uターン就職にあたっては、地域によっては首都圏や大都市での就職活動と異なり、企業数が限られていることがありますが、地元企業も優秀な人材を求めており、地元出身の学生を積極的に採用するケースも増えています。 本学では、Uターン就職を希望する学生のために、「就職支援パートナーシップ制度」※を活用した支援を行っており、Uターン就職希望地域のパートナー大学で求人情報閲覧等が可能です。また、キャリア支援センターにて、全国各地域ごとの求人情報等を閲覧できます。 近年は、WEBでの情報収集やオンラインでの説明会、選考への参加が可能なケースも増えており、これらを活用することも有効です。就職活動が順調に進むよう、キャリアカウンセラーによる個別の相談やアドバイスも行っておりますので、活用してください。 ※就職支援パートナーシップ制度 https://www.yokohama-cu.ac.jp/career_dev/career/partnership.html#title2

	質問内容	担当所管	回答案
7	いつもお世話になっております。 大学院への進学について、具体的なスケジュールや必要とされる手続き、成績などをお教えいただけたらありがたいです。先輩方の実例なども交えてお話しいただけましたら助かります。	アドミッション課	大学院入試や各種手続等の日程は研究科によって異なります。詳細は、以下のURLに掲載しておりますので、こちらをご確認ください。 https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/graduate/ また、各研究科では大学院説明会を開催しており、研究内容や入試制度、出願までのスケジュールなどについて説明を行っています。研究科によっては、在学中の大学院生による学生生活や研究活動の紹介も実施していますので、大学院進学を検討されている方はぜひご参加ください。 説明会の日程や募集内容については、HPやYCU-Board等でお知らせいたします。
8	文系の大学院について質問です。 大学生の就職活動と比べると、文系の院生は全体的に苦戦している印象はありますか？	キャリア支援担当	一般的に、文系の大学院生が学部生と比べて一律に就職活動で苦戦するという傾向はありません。企業によっては学部卒採用が中心であるため、大学院進学そのものが有利に働くとは限りませんが、大学院で培った専門性や研究経験、分析力などを評価する企業も多くあります。そのため、就職活動の結果は「大学院生かどうか」よりも、大学院で何を学び、それを将来の仕事とどのように結び付けて説明できるかに大きく左右されます。本学でも、進学目的が明確で、研究経験を自身の強みとして伝えられている大学院生は、民間企業や公務員など幅広い進路に進んでいます。また、キャリア支援センターでは大学院生向けの相談や選考対策も行っています。
9	大学3年生からの就職活動の流れ、スケジュール、ポイントを教えて頂けると幸いです	キャリア支援担当	No. 2と同回答
10	長期海外留学(特に語学学校等で本校の履修単位とならない学校への留学)の経験者の中には、4年間で卒業できない学生もいると思いますが、大学としてフォローはありますか。	グローバル推進室	本学では、留学による学びの機会を尊重しておりますが、留学前の段階で学生に対し卒業要件や今後の履修計画について十分確認するよう案内しております。 特別な措置は設けておりませんが、学修計画等については当室のほか教務部門にもご相談いただくことを勧めております。
		教育推進課	本学の留学プログラム以外の制度を利用して海外渡航する場合は、4年間で卒業が難しくなる場合があります。一方で、留学中や帰国後には、必要に応じて指導教員及び事務担当者が履修相談に対応し、卒業に向けた学修計画の検討を支援しています。
11	奨学金を担当してくださる窓口の方の中にかなり高圧的な方がいて、相談するのがとても憂鬱に感じている生徒が何人かいると聞いています。お忙しい中対応するのは大変だと推察しますが、どのような方が担当されているのでしょうか。	学生支援課	ご心配をおかけしており、申し訳ありません。 奨学金窓口は、日々の業務を通じて制度や手続きに関する知識や経験を積んだ職員が担当しております。 奨学金制度は多岐にわたるうえ、年度ごとに制度や手続きの内容が変更されることもあるため、学生の皆さんに誤った案内をすることのないよう、正確な説明を行うことを心掛けております。 そのため、制度や手続きについて正確にお伝えすることを重視するあまり、説明の仕方や対応のあり方によっては、学生の皆さんが相談しづらい、話しにくいと感じられる場合もあつたかもしれません。 そのような思いをされた学生がいらっしゃるのであれば、大学として真摯に受け止めたいと考えております。 学生の皆さんの不安や悩みに寄り添い、安心して気軽に相談していただける窓口であることが大切であると考えております。 職員に対しても、学生一人ひとりの状況や気持ちに配慮した対応を心掛けるよう指導するとともに、必要に応じて改善を図ってまいります。 もし、窓口での対応について不快な思いをされたり、相談しづらいと感じられたりした場合には、どうぞ遠慮なく学生担当の別の職員へご連絡ください。状況を確認しながら対応させていただきます。 今後も、学生の皆さんが安心して相談できる窓口づくりに努めてまいります。

令和8年度保護者説明会 事前申込・当日質疑応答

	質問内容	担当所管	回答案
12	留学国で変わるとありますが、交換留学先での生活費の目安額を教えてください	グローバル推進室	想定される留学費用については、各プログラムで異なります。また、昨今の円安基調や物価高により、航空券や宿舍費用が高騰しているため、今後想定される留学費用の目安をお示しすることが難しい状況です。ご参考までに、過去のプログラム費用を実績・目安としてお示しいたします。（※各プログラムの参加には、本学が指定する保険への加入代金が別途必要となります。） ・「第2クォータープログラム」 イギリス ダブリンシティ大学（2026年6月27日～7月27日に参加の場合） 合計金額：約86万円〔内訳 語学研修費用・滞在費：約53万円 航空券代金：約29万円 プログラム運営費(委託会社)：約4万円〕 ・「夏季短期研修プログラム」 アメリカ サンディエゴ州立大学（2026年8月12日～9月13日に参加の場合） 合計金額：約100万円〔内訳 語学研修費用・滞在費：約53万円 航空券代金：約43万円 プログラム運営費(委託会社)：約4万円〕 ・「長期交換留学プログラム」（2025年度帰国学生の情報による） イギリス「リーズトリニティ大学」へ交換留学の場合 ・航空券費用（往復）約30万円 ・生活費（※1ヶ月あたりの費用）約20万円 〔内訳 学生寮費用：約10万円 生活費：約10万円（食費・交通費・娯楽費など）〕 長期交換留学プログラムについては、ホームページに掲載している各学生の留学レポートも、具体的な生活費等の参考になりますので、ご覧ください。 https://www.yokohama-cu.ac.jp/ytog/global/overseas_study/reports2025.html
13	学生本人が貴校卒業後にワーキングホリデーでの外国への渡航を希望しています。その斡旋は大学の範囲外になりますでしょうか 専門のワーキングホリデーへの事務所に直接問い合わせはしているようですが、体験談や今までのニュースを見る限り危険はあるようなので、できるだけ安全圏に出向いて欲しいのです。 休学、貯金、留学の流れの方が安全ではないかと考えています。どちらにしても異常気象の中、周囲からの今までの意見もあり、本人も悩みながらかと思いますが、アドバイスはいただけますでしょうか。	グローバル推進室	卒業後の進路やワーキングホリデーの就労先や手続きのあっせんは大学の業務範囲外となります。一方で、海外渡航に伴う安全管理や危機管理については、大学ホームページで自己手配渡航者向けの情報提供や事前オリエンテーション等を実施しており、外務省の海外安全情報を十分確認し、安全面を最優先に検討するよう案内しています。
		キャリア支援担当	ワーキングホリデーの就労先や手続きのあっせんは大学の業務範囲外となります。
14	理学部学生の就活の進め方と、修士に進むかどうかの判断のタイミングについて知りたいです。	キャリア支援担当	就職活動の進め方については、文系学生と変わりません。大学院については、理学部生の場合、7月の学内推薦入試を受験し進学するケースが一番多いです。研究室配属となる3年生の後期から4年生へ進級の時期に最終決定する学生が多いように思われます。
		アドミッション課	修士課程へ進学するか就職するかの判断時期は学生によって異なりますが、例年、生命ナノシステム科学研究科および生命医科学研究科では7月上旬に学内推薦入試を実施しているため、学内推薦入試の受験を希望する場合は、4年生の春頃までには進路の方向性を決めておく必要があります。一方で、学内推薦入試以降も入試を実施しているため、就職活動を進める中で進路希望が変わった場合でも、第1期入試（8月実施）および第2期入試（11月実施）の受験も可能です。例年、各研究科では大学院説明会を複数回開催しており、研究内容や入試制度、在学中の学生生活等について知ることができます。大学院進学を検討している場合は、3年次に説明会にご参加ください。
15	交換留学の募集人数を超える応募があった場合、どのような基準で選考されるのでしょうか。成績順なのか、先着順なのかを教えてください。	グローバル推進室	1年間、または半年の交換留学については、応募者に対して学内選考を実施しています。選考は先着順ではなく、志望理由書、学業成績（GPA）、語学能力等を総合的に評価したうえで行います。なお、交換留学の応募時には複数の希望先を登録することができます。人気の高い大学は応募が募集人数を上回る場合もありますので、希望先を複数検討しておくことをお勧めしています。
16	交換留学の応募要件として記載されている「TOEFL iBT」等の語学スコアについて、大学で受験している英語試験の結果を換算して使用することはできますか。また、別途受験が必要でしょうか。	グローバル推進室	1年間、または半年の交換留学では、留学先大学が求める語学要件を満たす必要があります。多くの協定校では、TOEFL iBTやIELTS等の4技能（読む・聞く・話す・書く）を測定する外部試験のスコア提出を求めています。そのため、応募先大学の要件に応じて、TOEFL iBTやIELTS等を別途受験していただく必要があります。必要なスコアや認められる試験の種類は留学先によって異なりますので、募集要項をご確認ください。

令和8年度保護者説明会 事前申込・当日質疑応答

	質問内容	担当所管	回答案
17	学生のうち、どの程度の割合が留学を経験しているのでしょうか。また、学部による違いはありますか。	グローバル推進室	本学では、公式プログラムによる留学に加え、学生自身が留学先を手配して渡航するケースも含め、昨年度は約300名(医学部、休学等も含めると455名)の学生が海外での学修を経験しています。なお、この人数は年度により変動します。 学部によって状況は異なりますが、交換留学については国際教養学部や国際商学部の学生の参加が比較的多い傾向があります。一方で、理学部やデータサイエンス学部の学生についても、研究活動や履修計画との調整を行いながら参加している実績があります。 留学は希望する学生が自主的に挑戦するものであり、全ての学生に留学を求めるものではありません。学生一人ひとりの希望や学修計画に応じて、多様な学びの機会を提供しています。
18	留学プログラムへの応募や選考は、いつ頃から準備を始める必要がありますか。留学までのスケジュールの目安を教えてください。	グローバル推進室	留学プログラムの募集時期や選考スケジュールは、プログラムの種類によって異なります。 1年間、または半年の交換留学については、渡航開始のおおむね1年前から募集・選考を行います。例えば、3年次後期から留学する場合は、2年次後期に応募することになります。学内選考を経て、留学先大学への出願や渡航準備を進めていただきます。 一方、2Qや短期語学研修などの短期プログラムについては、渡航のおおむね半年前から募集を開始します。 語学試験の受験や履修計画の調整も必要となるため、留学に関心のある学生は早めに情報収集を行い、グローバル推進室へご相談いただくことをお勧めします。
19	留学したい大学の定員枠はありますか？	グローバル推進室	1年間、または半年の交換留学については、協定校ごとに募集人数が定められています。ただし、募集人数は協定校との調整等により年度ごとに変更となる場合があります。 最新の募集人数や応募条件については、毎年度公表される募集要項をご確認ください。
20	海外研修で選考があるものはどれでしょうか？	グローバル推進室	短期語学研修や各種短期プログラムについては、応募要件を満たしていれば参加できるプログラムが多くあります。 一方、1年間、または半年の交換留学については協定校ごとに募集人数が定められているため、学内選考を実施しています。選考では、志望理由書、学業成績（GPA）、語学能力等を総合的に評価します。 詳細は各プログラムの募集案内をご確認ください。
21	理学部生はどの程度海外留学しておりますか。実績が分かれば時期や場所も教えていただきたいです。	グローバル推進室	理学部生の交換留学参加者は、国際教養学部や国際商学部と比較すると多くはありませんが、留学実績はあります。 近年では、大学院進学後に米国の協定校へ交換留学した事例があります。また、令和8年度の短期プログラムについても複数学生が参加しており、語学研修等を通じて海外で学ぶ機会を活用しています。 研究活動や必修科目との調整が必要となる場合もありますので、留学を希望する学生は早い段階からグローバル推進室や教務担当へ相談することを推奨しています。
22	インターンシップや就職活動中にアルバイトを続けることは難しいでしょうか？	キャリア支援担当	インターンシップや就職活動とアルバイトを両立している学生は多くいます。 短期間（1週間程度）のインターンシップに参加する学生も多く、自身でスケジュールを調整しながら活動しています。ただし、就職活動が本格化する時期には、企業説明会や選考日程が集中することもあるため、状況に応じてアルバイトの勤務量を調整することが望ましい場合があります。
23	留学で使用できる奨学金(給付型)が知りたいです。	グローバル推進室	交換留学や一部の留学プログラムでは、日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度をはじめとする各種奨学金を利用できる場合があります。 奨学金の対象となるプログラムや募集条件は制度ごとに異なります。大学ホームページにも留学関連の奨学金情報を掲載していますのでご確認ください。また、グローバル推進室では個別相談も行っていますので、留学計画に合わせてご相談ください。
24	学内主催の就活イベントについてお尋ねいたします。 留学中の学生がzoomで参加できるようなイベントはありますか？ また、その情報はどこから得られますか？ ご教示のほど、よろしくお願いいたします。（現在長期留学中の子がおります）	キャリア支援担当	学内で実施する就職支援イベントの中には、オンラインで参加できるものがあります。また、対面開催のイベントについても、一部は後日アーカイブ動画を公開しています。 イベント情報は大学のメールアドレス宛ての案内や学内システムを通じて周知しています。留学中であっても日本国内の学生と同様に情報を受け取ることができます。 また、キャリア相談についてもオンラインで利用できるため、留学中の学生も個別相談を受けることが可能です。
25	直接的な家族のサポートを得られにくい、実家を離れて一人暮らししている学生は就活は厳しいでしょうか。	キャリア支援担当	本学には実家を離れて一人暮らしをしている学生も多く在籍していますが、一人暮らしであること自体が就職活動において不利になるわけではありません。 キャリア支援センターでは、個別相談や各種就職支援イベントを実施しており、学生一人ひとりの状況に応じたサポートを行っています。不安や悩みがある場合は、早めに相談していただくことをお勧めしています。
26	データサイエンス学部において、第二クォータープログラムの参加が難しいと伺ったことがあります。 学部によって交換留学や短期プログラムに参加し難かったり、単位の互換が出来ないといった状況があれば教えていただきたいです。	グローバル推進室	学部や学科によって必修科目の配置や履修モデルが異なるため、留学しやすい時期や履修計画上の調整のしやすさには違いがあります。 特に理系学部や専門科目の多い学部では、必修科目や研究活動との調整が必要になる場合がありますが、留学への参加自体は可能です。 留学時期や単位認定の取扱いはいくつかの状況によって異なるため、希望する学生は早い段階からグローバル推進室および教務担当へ相談してください。

令和8年度保護者説明会 事前申込・当日質疑応答

	質問内容	担当所管	回答案
27	就職後のその後の離職率のデータがあれば教えてください。入社後一年以内とわかる範囲でいいです。またもしもすぐに退職してしまった場合の卒業生のサポート相談などは学校側でしていただけるのでしょうか。	キャリア支援担当	本学では卒業生を対象としたアンケート調査を実施しています。直近の調査では、卒業後3年以内に転職を経験した卒業生の割合は約20%となっています。 また、卒業後も3年以内で就労経験のない方に限り、キャリア支援室センターによる相談支援を利用することができますが、転職活動のご相談（第二新卒向けも含む）はお受けしていないため、民間の支援団体やハローワーク等にお問い合わせください。
28	生徒本人はこれらのサポートがあることをしっかりと熟知しておりますか？生徒本人がこれらのサポート内容をしらないと活用できずなんとなく生活し留学にも興味を持たず、就職活動もなんとなくやっているように感じていて心配です。保護者へよりも何度も生徒本人にこれらの情報を与えて頂きたいです。	学生支援課	大学では、学生向けポータルサイトや大学メール、ホームページ等を通じて、留学、就職支援、学生生活支援などに関する情報発信を継続的に行っています。 一方で、学生によっては情報を見落としてしまう場合もあります。そのため、大学としても様々な媒体を活用しながら周知に努めていますが、学生の皆さんには大学メールや学内システムを日常的に確認するようお願いしています。
29	本日の学生さんの留学経験や就職活動プレゼンは息子にも見て欲しいと思っているのですが録画を見る方法がありますか。	学生支援課	本説明会のうち、大学からの説明部分については後日アーカイブ配信を予定しています。 一方、学生による発表については、個人情報等に関する内容を含むため、動画配信の対象外となります。あらかじめご了承ください。
30	留学の応募で語学基準を満たさなかった場合はどうなりますか。	グローバル推進室	本学および留学先大学が定める語学要件を満たしていることが応募条件となります。 そのため、定められた語学基準に達していない場合は選考対象となりません。必要な語学スコアや条件はプログラムごとに異なりますので、募集要項をご確認ください。
31	進学か就職かを判断する標準的な日程（何年のいつ頃）を教えてください。	キャリア支援担当	学生によって異なりますが、研究室配属や卒業後の進路について具体的に考える時期となる3年次後半から4年次進級時期にかけて、進学か就職かを最終決定する学生が多く見られます。 ただし、研究分野や進路希望によって準備時期は異なるため、早い段階から教員やキャリア支援センターへ相談することをお勧めしています。